

最後まで気を抜かず 天間林道路卒古沢舗装 で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は9月26日、国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所発注の国道45号天間林道路卒古沢地区舗装工事で安全パトロールを行った。写真。本社からは石井社長、堂尻伸二執行役員工事本部安全環境部長、東北支店から佐藤透執行役員支店长、高橋克己技術顧問、藤原裕技



術顧問、青森営業所から前田崇志営業所長が参加した。

同パトロールは、2022年度全国労働衛生週間準備期間の取り組みの一環で、経営トップによる労働者の健康確保、快適な職場環境形成を目的として、進捗状況と安全衛生管理活動を確認した。

佐藤支店長は「舗装が完了した状態で、今後、中分防護柵業者などが舗装面に重機の油を落としたりすると、指摘の対象になりかねない。油漏れ厳禁看板を設置するなど、連絡協議会などで対応や周知の方法を協議するように」と述べ、堂尻部長は「安全と衛生の確保が確認できた。これから寒くなり、コロナも収束していないため、体調管理に留意して、関係者が一丸となって現場の自主的な安全衛生管理活動を一層推進し、完成まで無事故・無災害を」と指示した。石井社長は講評で「現場は舗装も完了した状態で、パトロール当日は法面の種子吹付けを行っており、転落防止対策がしっかり実施されていることを確認した。残工事もわずかだが、供用開始までの間、路面や法面の管理が必要だ。供用後の残工事も少しあり、最後まで気を抜かずに安全衛生管理に努めてほしい」と呼び掛けた。

